



企業の事故パターンから学ぶ

~リスクに合わせた運転習慣~



ヒロカネプロダクションが描く事故事例!

©ヒロカネプロダクション











ドライブレコーダーによる実際の映像







東京海上ディーアール株式会社主席研究員

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授

北村 憲康

24分/DVD (字幕選択式) 77,000円 (税抜 70,000円)

企画·製作·発売元 株式会社 教 配



T190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア TEL 042-518-9774(代) FAX 042-518-9785

企業の事故パターンから学ぶ。『ヨシンプロースを見る

~リスクに合わせた運転習慣~

業務で自動車を使用する企業・ドライバーにとって交通事故防止の対策は重要な課題です。

交通事故が数百件あれば数百通りの原因が想定されますが、発生場所と事故を起こした車の運転行動などから、 ある一定の事故パターンに分類することができます。今回は集中している事故パターンの中から「頻度」「重度」の 高い事故を分析し、その防止対策を考えていきます。

正しい運転姿勢

まず、事故防止の基本となる正しい運転姿勢を確認していきます。

正しい運転姿勢を維持することによって、視野が 十分に確保でき、いざという時にブレーキやハン ドル操作をすばやく適切に行うことができます。





頻度の高い事故の防止対策

scene 1 駐車場のバック事故

- ●バック時の単純な確認不足がそのまま事故につながることが多い
- ●「ギアをバックに入れる前の確認」と「駐車スペース半分で一旦停止・確認」を 習慣づける

scene 2 一般道追突事故

- ●「ながら運転」による追突事故を防ぐためには会社の方針を決める
- ●「あおり運転」を受ける原因となる行為はしない

重度の高い事故の防止対策

scene 3 交差点事故(右折)

- ●右折時は発進後から加速を伴い、加速中に接触・衝突することが多く、 重大事故につながりやすい
- ●最短距離で行く「ショートカット右折」は行わない

scene 4 交差点事故 (左折)

- ●車にはミラーに映らない死角がある
- ●巻き込み事故を防ぐため、ミラーだけに頼らず左後方を直接目視する

scene 5 高齢歩行者との事故

- ●歩行者の死亡事故の中で高齢者が7割以上を占める
- ●ドライバーには横断歩道手前での減速・停止義務がある

scene 6 自転車との事故

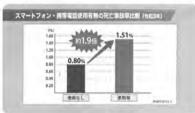
- ●自転車には不用意に近づかない
- 特に交差点付近での自転車の動静に注意する

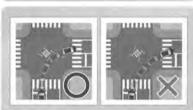
協力:ヒロカネプロダクション 東京農工大学スマートモビリティ研究拠点

企画·製作·発売元 株式会社 教 配

止回 表 下 无 元 八 林 八 云 仁 子











2022年作品

●お申し込み・お問い合わせ